

株式会社キャスター

フルリモートワークの実践例

会社概要

会社名	株式会社キャスター
設立	2014年9月
代表取締役	中川 祥太
資本金	4,990万円
本社所在地	宮崎県西都市鹿野田11365-1
事業内容	オンラインアシスタントをはじめとした人材事業
関連会社	株式会社bosyu



ご利用企業様 累計1,700社以上！



株式会社CAMPFIRE様



株式会社ウィルゲート様



ベースフード株式会社様



日比谷 尚武様

サービス一覧

法人向け

個人向け

オンラインアシスタント



経理

採用

人事・労務



1ランク上

コールセンター

大量発注

オフライン



My Assistant

オンライン講座



セキュリティ



コンサルティング



派遣



求人サイト

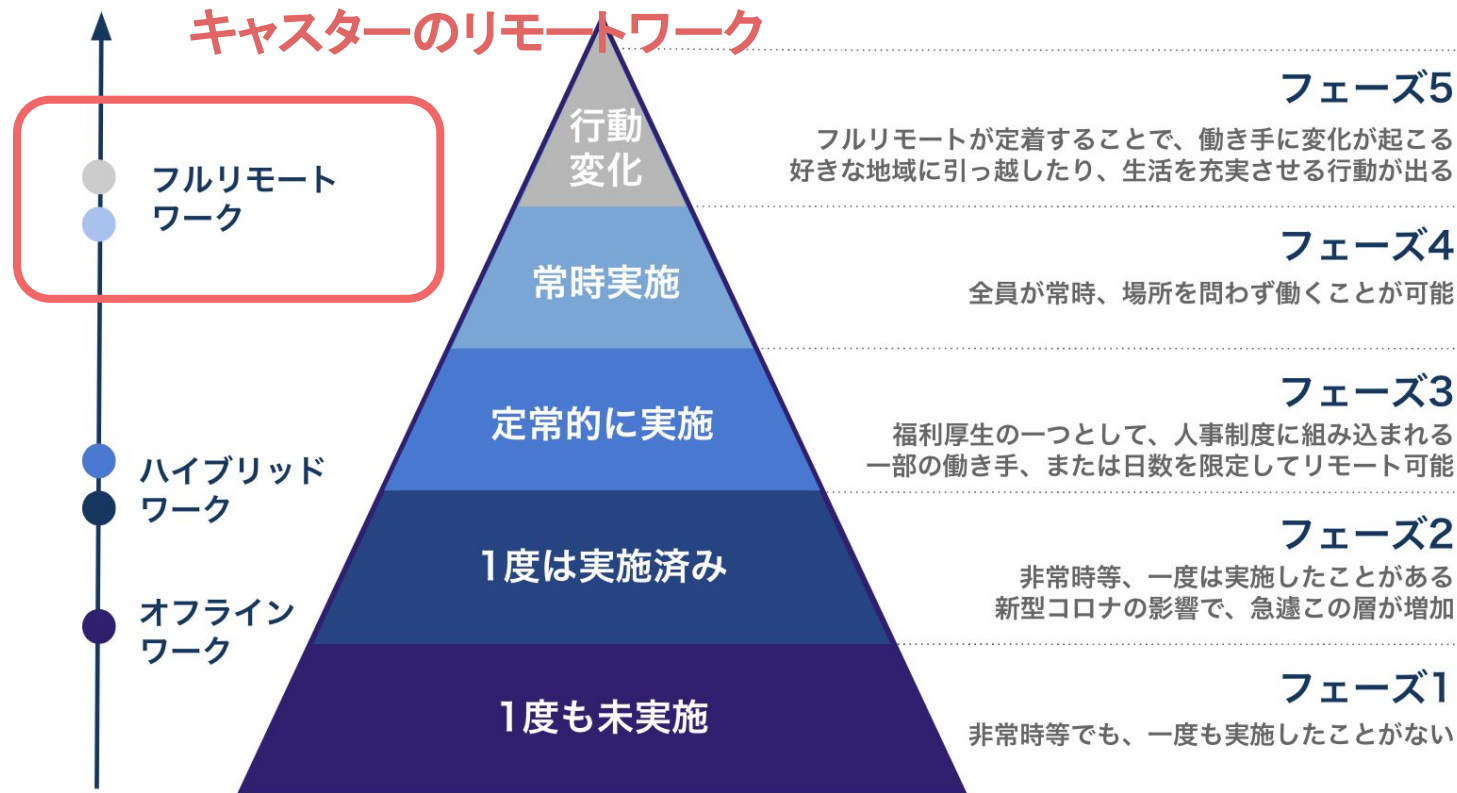


人と仕事をつなぐ



キャストターのリモートワークの取り組み

リモートワークの5フェーズ



リモートワーク化している職種

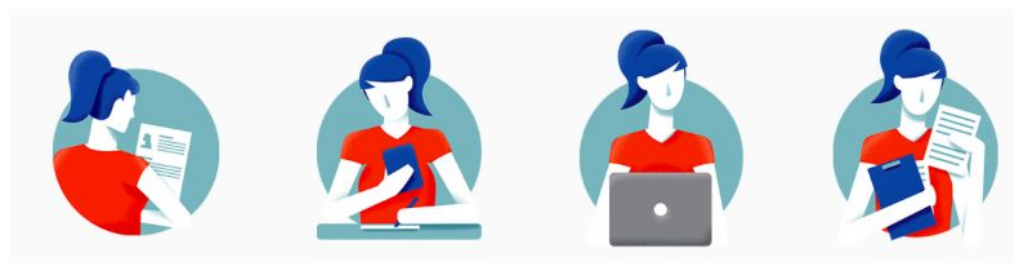
一部のオフライン業務を除き、全てフルリモートワーク

リモートワークの職種

- ・オンラインアシスタント
- ・経理アシスタント
- ・人事労務アシスタント
- ・採用アシスタント
- ・スポットアシスタント
- ・テレホンアポインター
- ・フィールドスタッフ
- ・人材コーディネーター
- ・カスタマーサポート
- ・セールス
- ・セールスアシスタント
- ・コンサルタント
- ・総務
- ・経理
- ・財務
- ・人事
- ・労務
- ・品質管理
- ・エンジニア
- ・マーケター
- ・PR など

オフラインの業務

- ・一部の総務、人事業務
(例えば...
行政への提出書類の作成・郵送
PC等、貸与品の発送・受取り
取締役会議事録等保管
一部の契約書等への捺印 など)



リモートワークのポイント

場所を問わずに働くための仕組みは、**管理・セキュリティ・ファシリティ**

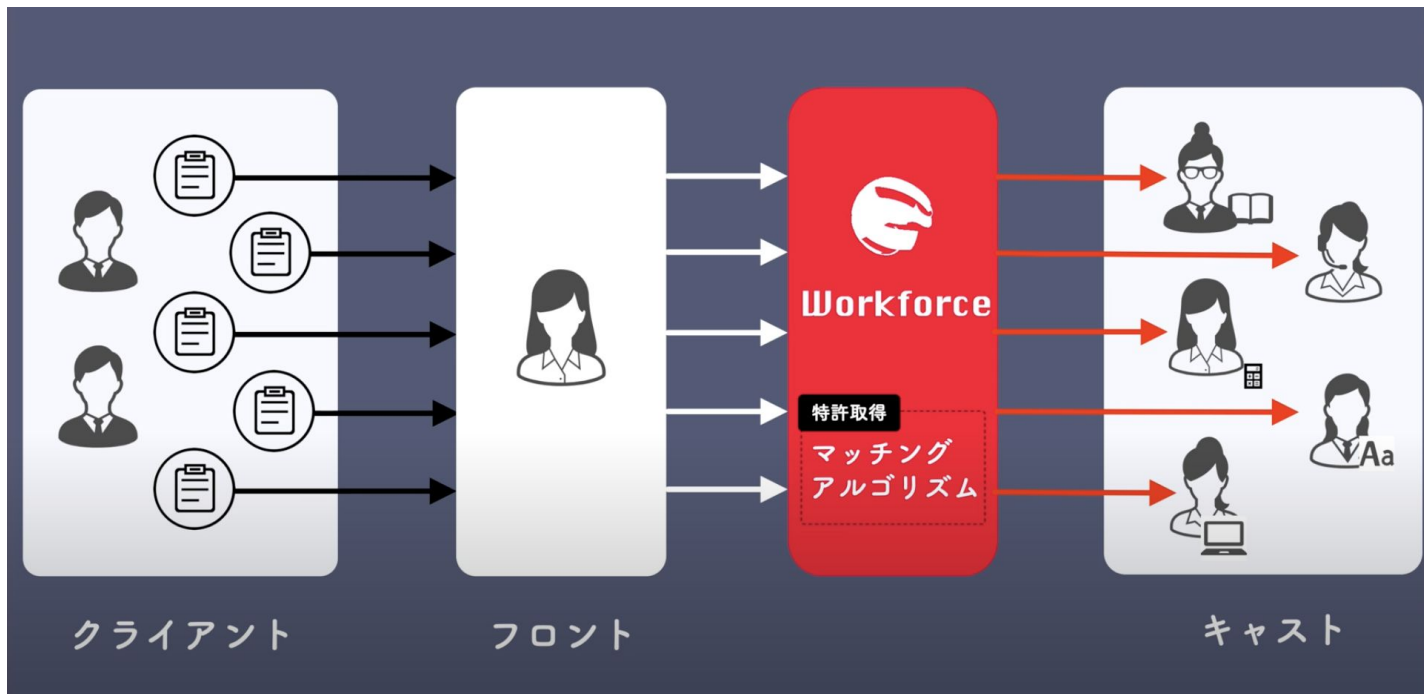


管理のポイントは

プロセス・成果の可視化

リモートワークにおける生産管理・成果管理

秘書・人事・経理・Web運用等を担うオンラインアシスタントサービス「CASTER BIZ」では、クライアントから承ったタスクと作業者をマッチングするシステムを自社開発（マッチングアルゴリズムで特許を取得）



リモートワークにおける生産管理・成果管理

アシスタントの情報(スキル・シフト・過去の業務評価)とタスク情報(かかった時間、難易度など)から最適なキャストティングを支援する



リモートワークにおける生産管理・成果管理

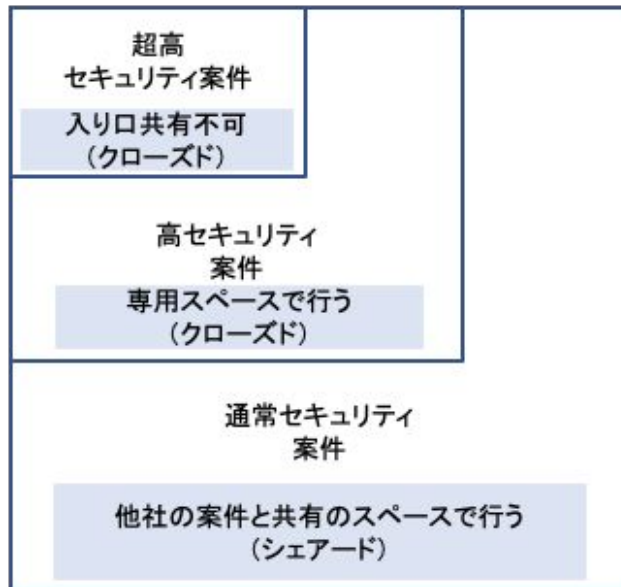
オンラインアシスタント以外の職種では、半期に1回目標設定を行い、成果を確認する

職種名	業務内容例	成果例
営業	見込み顧客へのサービス提案	商談数、売上 など
人事	採用、研修、労務、評価、制度、社内イベント	採用数、給与計算の締め早期化 など
経理	決算業務、経費精算、銀行折衝	決算の締め早期化、コスト削減 など
法務	リーガルチェック、契約書押印、文書管理	業務効率化 など
派遣コーディネーター	派遣スタッフとの面談、企業との折衝	マッチング数 など

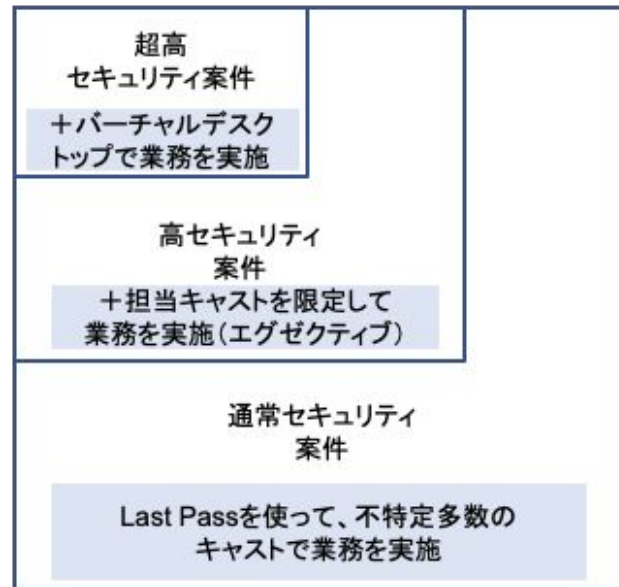
リモートワークにおけるセキュリティ

セキュリティレベルの高いBPO企業と同様の管理を、リモートワーク環境下で行うことが可能
(ISMS・プライバシーマークを取得)

BPO企業でのセキュリティ



カスタマーのセキュリティ



リモートワークにおけるファシリティ

ツール活用により、オフィスと変わらず業務ができる状態をリモートワーク環境下で構築

一般的なオフィス環境

a. 物理的なクローズド空間で書類等の流出を防ぐ



b. コミュニケーションは会話で行う



c. 契約書等の管理は、郵送・キャビネットなどで行う



カスタマーのリモートワーク環境

a. Last Pass (パスワード管理ソフト) によるデータ共有により、情報の閲覧対象者を限定



b. Chat、slack、zoomなどを駆使して会話する



c. 契約書等の管理は、クラウドサインで行う



より詳細の情報をご希望の方は...

SpeakerDeckでホワイトペーパーなどの
リモートワーク関連情報を公開しています



Speaker Deck

Featured decks Upload a deck Search... Search

Featured Business Design Education How-to & DIY Programming Research Science Technology

キャスト

caster

0 Stars

Edit my profile

キャスト
リモートワーク仕事図鑑
Caster

caster 0 1.4k

キャストグループ
働き方図鑑
Caster

caster 0 4k

700名以上のリモートワーカーが
活躍する組織における
リモートワーク導入のポイント

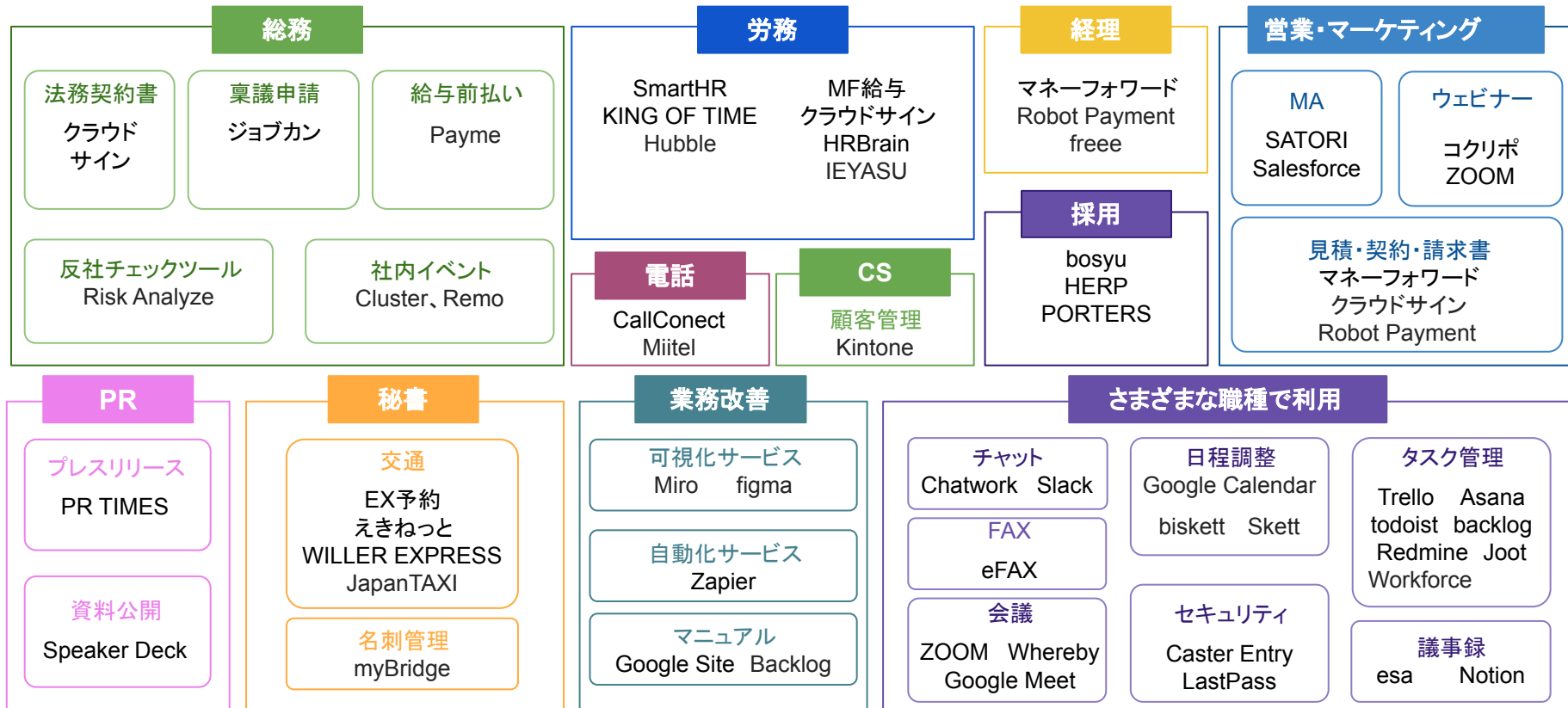
2020年2月6日
株式会社キャスト

caster 8 38k

リモートワークにおけるファシリティ

仕事図鑑 参照

キヤスターで導入しているクラウドツール例。約50種のクラウドツールを利用



リモートワークの職種例～経理

仕事図鑑 参照

経理の仕事は人と対面して仕事を行う場面が多くはなく、リモートワーク化しやすい部門自社に最適なクラウド経理ツールを導入し、リモートワーク化することで業務の効率化、ペーパーレス化、書類を管理していたオフィススペースの削減など大きな効果が見込める。







リモート化されない理由

- 経理処理フローが複雑になっていて、直接対面で確認したい事項が定期的が発生する。
- 紙・ハンコが必要な経費処理を行っている。
- 銀行窓口で支払いを行っていたり、小口現金がある。

リモート化するメリット

- 経費申請者、経理担当者共に業務の効率化につながる。
- ペーパーレス化につながる。
- 書類の管理スペースが不要になる。
- オンラインツールの利用でミスがなくなる。
- リモートでアウトソースもすると、経営の透明化にも。

従来の経理 vs リモート経理

	従来の経理	リモート経理
日常業務	現金の出納管理、立替経費の精算、伝票の記帳、整理業務は領収書や紙の書類で作業。 	●全てデータ管理 ●立替精算する人はスマホで領収書を撮影し、クラウドツールで経費精算 
月次処理	●請求業務では、請求書を印刷し郵送 ●支払い業務も各部署の上長が紙に押印 ●予実管理表は印刷してファイリング 	●クラウドツールで処理 ●クラウド上でデータ管理 
年次処理	年次決算、税務申告、会計監査対応、決算短信、有価証券報告書など印刷してファイリング 	●全て、クラウド上で管理 

カスタマー利用ツール
マネーフォワード
Robot Payment
free

リモート化するために必要なこと

- 支払請求書はメールや Web で受け取り、インターネットバンキングで支払う。
- クラウド経理ツールを導入し、請求書を発行、インターネットバンキングを通して入金確認する。
- 小口現金をやめる。

ex)リモートワークの職種例～経理







仕事図鑑 参照

経理の仕事は人と対面して仕事を行う場面が多くはなく、リモートワーク化しやすい部門自社に最適なクラウド経理ツールを導入し、リモートワーク化することで業務の効率化、ペーパーレス化、書類を管理していたオフィススペースの削減など大きな効果が見込める。

リモート化されない理由

- 経理処理フローが複雑になっていて、直接対面で確認したい事項が定期的が発生する。
- 紙・ハンコが必要な経費処理を行っている。
- 銀行窓口で支払いを行っていたり、小口現金がある。

従来の経理 vs リモート経理

	従来の経理	リモート経理
日常業務	現金の出納管理、立替経費の精算、伝票の記帳、整理業務は領収書や紙の書類で作業。 	●全てデータ管理 ●立替精算する人はスマホで領収書を撮影し、クラウドツールで経費精算 
月次処理	●請求業務では、請求書を印刷し郵送 ●支払い業務も各部署の上長が紙に押印 ●予実管理表は印刷してファイリング 	●クラウドツールで処理 ●クラウド上でデータ管理 
年次処理	年次決算、税務申告、会計監査対応、決算短信、有価証券報告書など印刷してファイリング 	●全て、クラウド上で管理 

カスタマー利用ツール
マネーフォワード
Robot Payment
free

リモート化するメリット

- 経費申請者、経理担当者共に業務の効率化につながる。
- ペーパーレス化につながる。
- 書類の管理スペースが不要になる。
- オンラインツールの利用でミスがなくなる。
- リモートでアウトソースもすると、経営の透明化にも。

リモート化するために必要なこと

- 支払請求書はメールや Web で受け取り、インターネットバンキングで支払う。
- クラウド経理ツールを導入し、請求書を発行、インターネットバンキングを通して入金確認する。
- 小口現金をやめる。

リモートワークの職種例～営業

仕事図鑑 参照

リモートワークを導入する企業が増え、テレアポをしてもつながらず、飛び込み営業をしてもオフィスに担当者が不在ということが増える。営業自身がリモートワークをすることで、効率的に成果を出すことにつながる。

リモート化されない理由

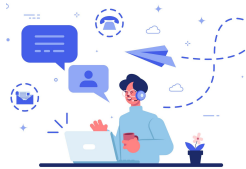
- オンラインで営業活動を完結させるためのフローやツールが分からない。
- オンラインでの商談に不慣れ。
- 案件情報や営業活動状況を社内にオンライン共有できる体制ができていない。

リモート化するメリット

- 移動時間が無くなるので、営業1人当たりの生産性が上がる。
- 効率化が進み、人件費・交通費等のコスト削減につながる。
- MAツール等を導入することで商談アポ獲得や成約率が向上。

従来の営業 vs リモート営業

	従来の営業活動	リモート営業
新規顧客の獲得	<ul style="list-style-type: none">●架電●飛び込み営業●セミナーで名刺獲得●折り込みチラシ、DM	<p><マーケティング活動></p> <ul style="list-style-type: none">●ウェビナー●MAツールを活用したメールマーケティング
営業・商談	<ul style="list-style-type: none">●訪問	<ul style="list-style-type: none">●Web/電話商談
見積書作成	<ul style="list-style-type: none">●紙の見積書を提出●紙の契約書を交わす	<p>キヤスター利用ツール：ZOOM、Whereby</p> <ul style="list-style-type: none">●オンラインで送信
受注・納品		<p>キヤスター利用ツール：見積：マネーフォワード 契約：Web申込書 クラウドサイン</p>
請求書発行	<ul style="list-style-type: none">●紙の請求書を郵送FAX	<ul style="list-style-type: none">●請求書作成ソフトで送信



リモート営業の1日例

1日のスケジュール	
9:00	メールチェック・各種対応
10:00	商談
11:00	商談
12:00	昼休憩
13:00	商談
14:00	フォローアップ対応
15:00	商談
16:00	社内ミーティング
17:00	週次確認
18:00	退勤👋

この日 4件商談

移動時間がないため、効率的にスケジュールを組める。

リモートワークの効果

リモートワークの経営への影響

1.コストダウン

2.採用力の向上

3.生産性の向上

4.事業継続性の担保

コストダウン(オフィス)

ホワイトペーパー
参照

・賃料

- 年1,350万円の賃料削減が可能(100名規模を想定)*1

・移転費用

- 敷金／礼金、引越し、内装、機器入替

・運営費用

- 光熱費、清掃費、保険料、通信費、印刷費
- 東京都内の中小企業の場合、ファシリティ関連費(パソコン、ネットワーク等)は最大250万円の助成金活用が可能 *2

・通勤費

- 1か月の通勤手当、平均1.1万円。*3
- 1人あたり年間13万円の削減。

*1) ザイマックス不動産総合研究所「大都市圏オフィス需要調査2019秋」より当社試算

*2) 東京しごと財団 テレワーク活用・働く女性応援助成金

*3) 平成27年就労条件総合調査／厚生労働省

コストダウン(採用)

ホワイトペーパー
参照

・エージェント成功報酬

- 実年収の30%ほど。東証一部の平均年収、約600万円を前提とすると、報酬は約200万円／1名採用時
- キャスター実績から、当該コストは75%削減可能
- エージェントを利用せずとも応募を確保できることで、仮に年間10~20名を採用している場合、2,000~4,000万円の削減インパクト

・媒体掲載費

- リモートOKとすると、ひとケタ違う数の応募が実現可能
- 掲載期間が短縮でき、かつ掲載媒体も絞ることが可能
- 掲載費用平均30万円×掲載数分の削減インパクト

・離職／引継ぎコスト

- 転勤等、家庭の事情等での離職を防ぐことが可能
離職補填のための採用面接や引継ぎコストの削減も実現される

- ・応募数が飛躍的に向上
- ・採用要件に合う人を計画通りに採用可能
- ・PR効果から会社の評判が向上
- ・高い従業員満足度からリファラル採用が増加

- ・朝の準備が短縮され、通勤時間は無い
 - － 生活はそのまま、時短ではなくフルタイムが可能に
- ・通勤による肉体的／精神的疲労が無い
 - － 欠勤の減少、離職の防止
- ・基本的に長時間労働が無い
 - － 限られた時間内で業務完遂を目指すため、生産性が高く、長時間労働とならない
 - － ただし、評価制度の整備と密接不可分

・インフルエンザ等の感染症対策

- 通勤電車・オフィス等、人が集まる場に行かないため感染しづらい
- 実際、カスタマーにおける2020年冬の罹患率は0.9%と、平均的な罹患率5%に比べて圧倒的に低い

・地震／台風等、自然災害時の対応

- 2019年10月に発生した台風19号は、都心への上陸は土日であったため出社停止等の措置をとった企業は少なかった
- ただし、被害が大きかった地域はその後も長期間の停電、公共交通機関の停止等が発生。事業継続が難しいケースもあった
- リモートワークでは、勤務不可の従業員割合を下げるのが可能

アフターコロナの リモートワークについて

リモートワークに最適化した経営

1.BCP対策

自然災害等の緊急時に備え、
リモートワークを実施できる環境を最低限整える

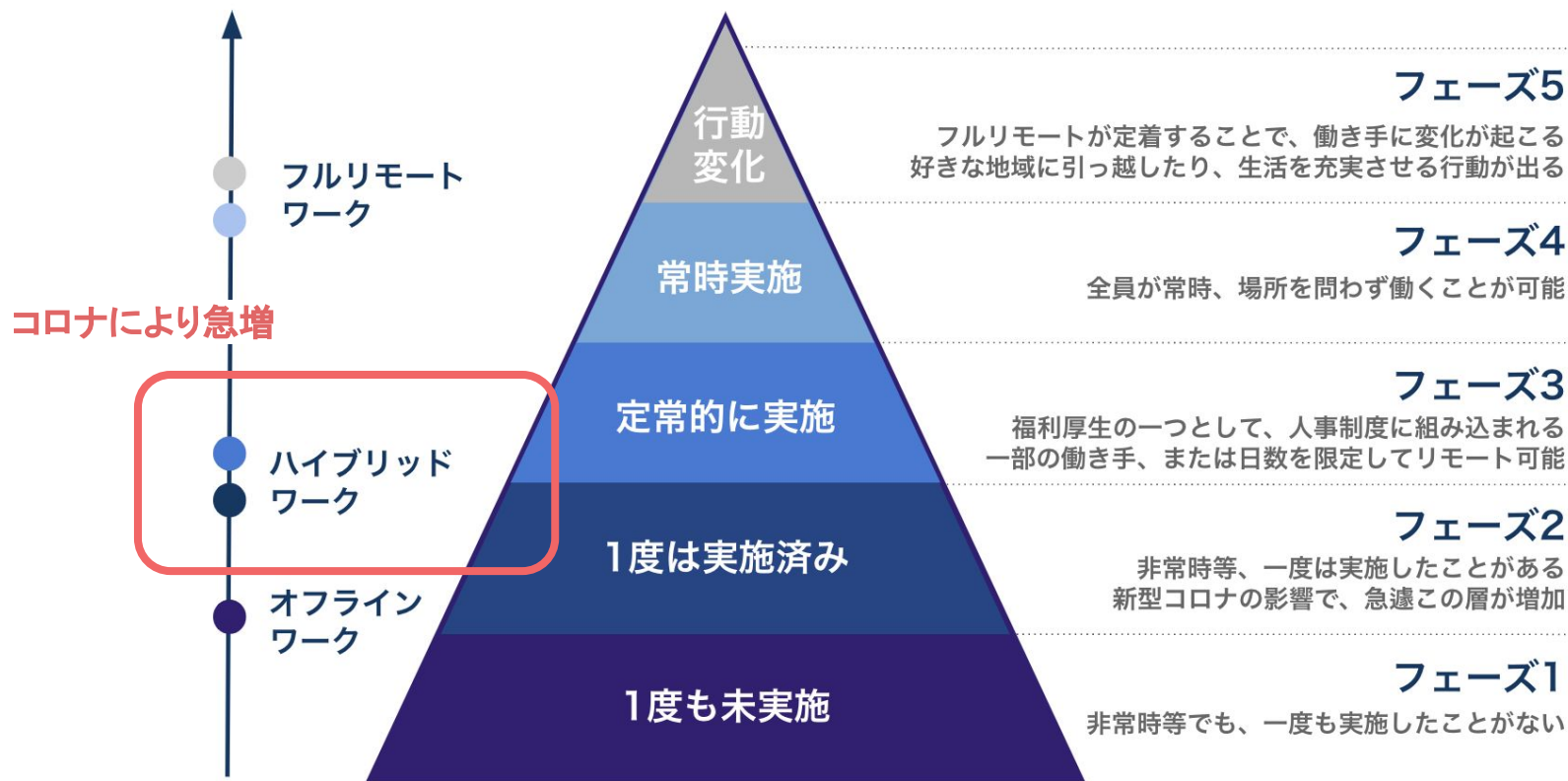
2.人事制度 管理

働き手に、場所の自由を認める前提で
評価や管理方法を確立する

3.事業・組織 戦略

リモートワークを導入していることを踏まえて
事業・組織を運営する

アフターコロナのリモートワーク



アフターコロナのリモートワーク



フェーズ5

フェーズ4・5に移行するためには、
リモートワークに最適化した事業・組織戦略が必要

1度も未実施

フェーズ1

非常時等でも、一度も実施したことがない